

年
  組
  番
 名前

**教材 7 - C - (1) 近代・現代の政治の様子**

次の(ア)～(シ)の説明はどの時代のものであるかを、【表】の中の～から選び、番号で答えなさい。

**【表】**

明治 (1868～1912)		大正 (1912～1926)	昭和 (1926～1989)		平成 1989～
明治維新 立憲国家 (1868～1890)	日清・日露戦 争 近代産業 (1891～1913)	第一次世界大 戦と日本 大正デモクシー (1914～1928)	世界恐慌 第二次世界大 戦と日本 (1929～1945)	現代の日本と 世界 (1945～)	

**【政治の様子】**

- (ア) 国会を開く前に憲法を制定して政治の体制をかためるために、君主権の強いドイツ(プロイセン)の憲法などを参考として大日本帝国憲法を制定した。
- (イ) 満25歳以上の男子に選挙権を与える普通選挙法を成立させると同時に、治安維持法が制定され、共産主義に対する取りしまりを強めた。
- (ウ) 世論を大切に政治を進めること、外国との交際を深めて国を発展させることなどを、新しい政治の方針として定めた。
- (エ) 国民を戦争に動員する「戦時体制」を強め、国の産業や経済から国民の生活のすべてにわたって戦争に動員することができる国家総動員法を公布した。
- (オ) 土地の所有者と価格を定め、その所有者が税を現金で納めることとしたことで全国統一の近代的な税となり、政府の財政を安定させることができた。
- (カ) 藩を廃止して県を置き、各県には県令(のちの県知事)を、東京、大阪、京都の3府には府知事を派遣して治めさせた。
- (キ) 地主が持つ小作地を政府が強制的に買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やした。
- (ク) 教育の普及を目的に、6歳以上の男女すべてに小学校で教育を受けさせることとしたために、各地に小学校がつくられた。
- (ケ) 治安維持法が廃止され、政治活動や言論の自由が認められた。また、満20歳以上の男女に選挙権を与えた。
- (コ) 蝦夷地を北海道と改め開拓使という役所を置いて統治を強化するとともに、農地の開墾、鉄道や道路の整備など欧米の技術を取り入れた開発を進めた。
- (サ) 沖縄が日本に復帰する過程で、核兵器を「持たず、つくらず、持ちこませず」という非核三原則が国の方針となった。

(シ) 群馬県の富岡製糸場などの官営模範工場をつくり、優れた技術を紹介し、新しい技術の開発や普及を図った。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)